

「再稼働認めない」2候補が当選!

事前アンケートに
きっぱり表明の二人

新潟日報社が県議選立候補予定者に行ったアンケートで、「原子力規制委員会が事実上『合格』と判断した柏崎刈羽原発6、7号機の再稼働を認めますか」という問いに、7人のうち5人は「判断できず」と答えていました。理由のほとんどが、県の「3つの検証」の結果が出てから見極めるというもので、原発に対する自分の考えを持たない、あるいは明らかにしないあいまいな姿勢と言わざるをえません。

「認めない」ときっぱりと回答した長部登さんと遠藤れい子さんはともに当選を果たし、原発再稼働ストップに向けた活躍が期待されます。

県の検証委員会がしっかりと見守りつつ、「判断できず」とした議員が再稼働賛成を表明できないように世論を高めていきましよう。

原発から市民を守る長岡市議会に!

原発ゼロ長岡市民ネットは、2011年11月に結成以来、長岡市議会に対し一万筆前後の署名を添えた請願を三回行いました。そのいづれもが、多数を占める自民党、公明党を中心とした議員によって不採択とされてきました。

ほとんどの地域が柏崎刈羽原発から30キロ圏内に入る長岡市で、市民のいのちと安全に責任を負うべき市議会が、市民の不安や願いを圧倒的多数で否決する。この事実を決して忘れてはならないと思います。下記にまとめましたので、あらためて確認し合い、原発再稼働を許さない長岡市議会をめざしましょう。



年月	請願名	賛成	賛否
2012年 9月	福島原発事故の検証と地域住民の合意なしに柏崎刈羽原発の再稼働を認めないよう求める請願(10,214筆)	共産党(笠井、諸橋、細井、木島)、民成(杉本)、無所属(大平、桑原、西澤、関)	9対 27
2013年 12月	柏崎刈羽原発の再稼働を認めず廃炉を求める請願(13,451筆)	同上	9対 26
2015年 12月	長岡市が実効性ある避難計画なしに柏崎刈羽原発の再稼働は認められないとの立場を明確にした対応を求める請願(6,436筆)	共産党(笠井、諸橋、細井、服部)、無所属(桑原、関)	6対 27

【許せませんね!】

★桜田大臣「復興以上に大事なのは

〇〇さん(自民党議員)の暴言で辞任

4月10日、パーティーでの発言。被災地の方々の苦難の大きさを知れば、到底思っても及ばない言葉です。かばい続けてきた安倍首相の任命責任が問われます。そしてこれは、「被災地に寄り添う」とは言葉だけで、被災者支援を冷たく打ち切っている安倍政権全体の姿勢の表れと言えるのではないのでしょうか。

★経団連「原発再稼働、新增設の推進」を提言

4月8日、経団連が「日本を支える電力システムを再構築する」と題する提言を発表。原発に固執し続け、原発依存社会へ逆戻りする内容です。「脱炭素化」を原発推進の「理由」にしていますが、それは口実にすぎず、政府・財界は再生可能エネルギーの普及に消極的、石炭火力発電の規制に後ろ向きで石炭火力の輸出まで進めています。しかも老朽原発の運転期間の延長を要求するなど、安全よりもうけを優先する姿勢は国民の願いに背くものです。

【5月の街頭行動のお知らせ】

☆5月11日(土) 12時

☆アオーレ長岡前に集まりましょう。